

報 雜

◎人 事

岡山醫科大學助教授 柳 原 亨
依願免本官
岡山醫科大學助教授 柳 原 亨
本俸九級俸下賜 (三月二十四日)
臺灣總督府醫院醫官 畠 山 長 作
東京、愛知、岡山ノ各府縣へ出張ヲ命ス
(三月八日)
正三位勳三等 上 坂 熊 勝
官立醫科大學官制第二十一條ニ依リ勅旨ヲ以テ岡山
醫科大學名譽教授ノ名稱ヲ授ク
(三月二十四日)
任陸軍三等軍醫 和 田 達 郎
(三月三十日)
臺灣總督府醫院醫官 畠 山 長 作
陞敘高等官四等
(三月三十一日)
岡山醫科大學助教授 北 山 加 一 郎
陞敘高等官四等
岡山醫科大學助教授 怡 土 良 三
陞敘高等官六等 (四月一日)
陸軍一等軍醫 永 山 太 郎
補歩兵第十聯隊附 (四月一日)
海軍軍醫大尉 西 田 實 雄
海軍軍醫學校選科學生被仰付 (四月一日)
東京高等齒科醫學校教授 松 本 武 一 郎
六級俸下賜 (四月四日)
岡山醫科大學助教授 怡 土 良 三
依願免本官 (四月七日)
敘正七位 從七位 怡 土 良 三
(四月六日)

(各通) 陸軍三等軍醫正 長 田 祖 村
正六位勳四等 陸軍三等軍醫正 石 井 義 章
正六位勳四等
任陸軍二等軍醫正
陸軍一等藥劑官 牧 野 誠
從六位勳六等
任陸軍三等藥劑正 (四月十一日)
歩兵第十聯隊附 河 崎 標 也
陸軍三等軍醫正
補第十師團軍醫部部員
陸軍二等軍醫正 長 田 祖 村
補濱田衛戍病院長兼歩兵第二十一聯隊附
陸軍三等藥劑正 牧 野 誠
補京都衛戍病院附兼第十六師團軍醫部部員
羅南衛戍病院附 西 村 慶 次
陸軍一等軍醫
補第十九師團軍醫部部員 (四月十一日)
賜一等給 陸軍一等軍醫 大 田 澄
賜二等給 陸軍一等軍醫 脇 田 豊
(四月十五日)
岡山醫科大學教授 鈴 木 稔
歐洲各國へ出張ヲ命ス (四月十五日)

○濱崎幸雄君 豫て文部省より病理學研究の爲め歐
米に在留を命ぜられ居りし同君は本月7日無事歸朝
せられたり
○遠藤正人君 は豫て岡山醫科大學衛生學教室及び
津田外科教室に勤務し居られしが今般同大學を辭し
廣島縣東城町細川病院に勤務せられたり
○丸田實喜君 は豫て岡山醫科大學生理學教室に於
て研究中なりしが今般大阪市西區本田通常盤橋療養
所に勤務せられたり
○玉尾延忠君 は曩に陸軍衛生部幹部候補生の勤務
を了へ岡山醫科大學柿沼内科教室に於て研究中なり

しが今般姫路市市立北條病院に勤務せられたり

○伊東一生君 は豫て岡山醫科大學衛生學教室に於て研究中なりしが今般愛媛縣吉田町吉田病院に勤務せられたり

○菅田士郎君 は豫て岡山醫科大學津田外科教室に勤務し居られしが今般辭職し岡山縣阿哲郡豐永村湯川診療所に勤務せられたり

○礪原 亨君 別項の如く今般岡山醫科大學泉外科教室を辭せられたる同君は岡山市内山下水之手に於て開業せられたり

○大島松一君 は豫て日本赤十字社香川支部病院に勤務し居られしが今般辭職岡山縣小田郡笠岡町に於て開業せられたり

○細見 英君 豫て岡山醫科大學耳鼻咽喉科教室に勤務し居られし同君は今般同教室を辭し神戸市北長狹通五丁目に於て開業せられたり

○西田實雄君 海軍々醫學校選科學生たりし同君は今般岡山醫科大學泉外科研究科學生として入學せられたり

○吉田智一君 は今般和歌山縣新宮町岡醫院を辭し山口縣防府町三田尻弘中病院に勤務せられたり

○佐伯純一君 は豫て岡山醫科大學產科婦人科教室に勤務し傍ら同學衛生教室に於て研究中なりしが今般同大學を辭し大阪市天王寺區天王寺西門產婦人科ウネメ醫院に於て診療に従事せられたり

○大森三彦君 は豫て岡山醫科大學解剖學教室及び皮膚泌尿器科教室に於て研究中なりしが今般當市西中山下に於て令兄大亮君と共同開業せられたり

内田登一郎君逝く 君は明治 42 年岡山醫學專門學校を卒業し松山市唐人町に於て開業し居られしが本年 1 月 28 日 病を以て永眠せられたりと洵に哀悼に堪へず謹みて茲に弔意を表す

山田尙忠君逝く 君は明治 37 年岡山醫學專門學校を卒業し陸軍軍醫となり陸軍退職後神戸市須磨町に於て開業し後大阪府南河内郡新堂村に轉じ診療に従事し居られしが去 29 日永眠せられたりと洵に哀悼に堪へず謹みて茲に弔意を表す

◎新卒業生の動靜

本年度の岡山醫科大學の新卒業生諸君の目下の動靜は左の如し

岩 崎 武君 岡山醫科大學醫化學教室勤務

岩 佐 鐵 藏君 同 泉外科教室勤務

井 爪 昌 和君 同上

家 永 實君 神戸市北長狹通五丁目耳鼻咽喉細見醫院勤務

板 野 坂 惠君 岡山醫科大學柿沼内科教室勤務

今 屋 一 誠君 同 產科婦人科教室勤務

石 島 達君 同 神經科精神科教室勤務

伊 藤 正 道君 同 產科婦人科教室勤務

服 部 三 樹君 同 稻田内科教室勤務

橋 本 健君 同 津田外科教室勤務

新 田 司 郎君 同 小兒科教室勤務

大 西 晃君 同 泉外科教室勤務

大野勤次郎君 同 細菌學教室勤務

大 谷 憲 吉君 大阪帝大醫學部楠本内科教室勤務

岡 宏君 岡山醫科大學柿沼内科教室勤務

岡 本 重 雄君 大阪帝大醫學部解剖學教室勤務

岡 崎 哲君 山口縣柳井町岡生病院勤務

金 津 晴 亮君 岡山醫科大學解剖學教室勤務

金 光 近 夫君 同 稻田内科教室勤務

龜 井 俊 夫君 同上

河 村 謙 一君 同上

河 野 通 郷君 同上

金井英藏君 陸軍軍醫
 兼田三郎君 岡山醫科大學柿沼内科教室勤務
 米坂彌君 同上
 横山猛重君 同 眼科教室勤務
 田邊公彬君 岡山縣邑久郡鶴見村小林醫院勤務
 橘捷夫君 岡山醫科大學藥物學教室勤務
 伊達富久君 同 細菌學教室勤務
 中尾親章君 神戸市上筒井通高橋醫院勤務
 中尾興一郎君 岡山醫科大學稻田内科教室勤務
 中内胤雄君 同 眼科教室勤務
 中田富士男君 同 耳鼻咽喉科教室勤務
 鍋島清志君 同 柿沼内科教室勤務
 内藤達男君 神戸市市立東山病院勤務
 内橋禮次君 岡山醫科大學藥物學教室勤務
 久保四郎君 同 柿沼内科教室勤務
 久山正策君 同 細菌學教室勤務
 藏本養三君 同 耳鼻咽喉科教室勤務
 柳田秀一君 京都帝國大學醫學部松尾内科教室勤務
 山本英雄君 岡山醫科大學産科婦人科教室勤務
 藤田敬吉君 東京府全生病院勤務
 藤野博義君 岡山醫科大學稻田内科教室勤務
 福田正男君 歩兵第9聯隊幹事候補生として入營
 福井朋安君 岡山醫科大學皮膚科泌尿器科教室勤務
 小坂昭男君 同 耳鼻咽喉科教室勤務
 江口重郎君 高松市多々羅病院勤務
 赤木章君 岡山醫科大學柿沼内科教室勤務
 佐藤二郎君 同上
 木下武男君 同 細菌學教室勤務
 北垣忠男君 神戸市縣立神戸病院勤務
 望月章次君 岡山醫科大學産科婦人科教室勤務
 關谷重幸君 大阪歩兵第37聯隊見習醫官
 杉本徹君 岡山縣邑久郡雲掛村長島愛生園勤務

菅沼博君 陸軍軍醫
 須磨修一君 神戸市縣立神戸病院勤務

◎學位授與

遠藤正人、林昇、武野一雄、佐伯純一の4君は豫て論文を岡山醫科大學に提出し學位を請求し居られしが遠藤君は本年1月18日の教授會を通過し3月18日、林君は2月15日の教授會を通過し3月31日、武野及び佐伯の兩君は5月7日の教授會を通過し本月23日何れも醫學博士の學位を授與せられたり、其の主論文及び參考論文は左の如し

遠藤正人君

主論文

1. 微量抗原反覆注射ニ依ル沈降素產生 第1回報告 (本誌第43年第1號ニ發表ス)
2. 微量抗原注射ニ依ル沈降素產生ニ就テ 第2回報告
特異性及ビ非特異性刺激ノ影響 (本誌第43年第7號ニ發表ス)

參考論文

1. 家兎局所過敏症ニ關スル實驗的研究 (本誌第43年第12號ニ發表ス)
2. 臓器免疫血清ノ特異性及ビ其ノ作用ニ就テ (本誌第44年第1號ニ發表ス)
3. 大腸菌「フレンチウイルス」研究補遺 (大腸菌分離物質ニ就テ) (本誌第43年第8號ニ發表ス)
4. 所謂「ボトリオミコーゼ」ニ就テ (西山逸平、遠藤正人共著) (本誌第43年第8號ニ發表ス)

林 昇 君

主論文

哺乳動物胎兒泌尿器ノ排泄機能ニ關スル實驗的研究 (本誌第43年第10號ニ發表ス)

參考論文

1. 家兎胎兒原腎ノ色素攝取及ビ排泄ノ時間的關係ニ就キテ (本誌第 43 年第 10 號ニ發表ス)
2. 家兎胎兒ノ生體染色ニ就キテ (本誌第 43 年第 10 號ニ發表ス)
3. 家兎卵膜ノ生體色素攝取ニ就キテ (本誌第 43 年第 11 號ニ發表セリ)
4. 雌性內生殖器系組織ニ於ケル脂肪及ビ類脂肪ノ沈着ニ關スル動物實驗 (本誌第 330 號ニ發表ス)
5. 破壊性葡萄狀鬼胎ノ 1 例 (東京醫事新誌第 2748 號ニ發表ス)
6. 重複畸形兒 (Illethracopagus) ノ 1 例 (東京醫事新誌第 2749 號ニ發表ス)

武 野 一 雄 君

主 論 文

流行性腦炎ノ研究

- 其 1 流行性腦炎ノ病理學的研究 (本誌第 44 年第 5 號ニ發表ノ豫定)
- 其 2 「バルキンニスムス」ト振頭麻痺トノ異動ニ就テ (本誌第 44 年第 1 號ニ發表ス)
- 其 3 流行性腦炎病後症ノ檢討 (本誌第 43 年第 12 號ニ發表ス)

參考論文

- 其 1 麻痺性癡呆腦脊髄液ノ知見補遺 (岡山醫科大學歐文業府第 3 卷第 1 號ニ發表ノ豫定)
- 其 2 「ヘルペス」病毒侵入路ノ實驗 (神經學雜誌第 31 卷第 10 號ニ發表ス)
- 其 3 瞳孔緊張症ニ就テ (神經學雜誌第 29 卷第 5 號ニ發表ス)
- 其 4 神經低格ノ遺傳ニ就テ (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
- 其 5 一偏執體質者ニ關スル考察 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)

- 其 6 一抑鬱病者精神鑑定例 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)

佐 伯 純 一 君

主 論 文

血漿、纖維素及ビ血清相互關係ニ就テノ血清學的研究

- 其 1 沈降反應及ビ補體結合反應ニ就テ (岡山醫科大學歐文業府第 2 卷第 4 號ニ發表ス)
- 其 2 過敏症反應ニ就テ (岡山醫科大學歐文業府第 3 卷第 1 號ニ發表ス)
- 其 3 沈降素ノ分離ニ就テ (岡山醫科大學歐文業府第 3 卷第 1 號ニ發表ス)

參考論文

- 其 1 「レントゲン」造影劑沃度油ノ殺菌作用 (「グレンツゲビート」第 3 年第 7 號ニ發表ス)
- 其 2 子宮頸部癌ニ對スル「レントゲン」「ラヂウム」合併照射ノ治療成績 (日本レントゲン學會雜誌第 6 卷第 2 號ニ發表ス) (八木齊ト共著)
- 其 3 婦人科ニ於ケル「ジアテルミ」治療ノ效果 (内科治療 第 3 年第 5 冊第 23 號ニ發表ス)
- 其 4 卵巢假性粘液腫ノ 1 例 (本誌第 40 年第 9 號ニ發表ス)
- 其 5 卵巢ヨリ懸垂セル革樣纖維腫ノ 1 例 (日本婦人科學會雜誌第 23 卷第 1 號ニ發表ス)
- 其 6 沈降素ノ副抗原ニヨル吸收ニ就テ (本誌第 43 年第 10 號ニ發表ス)
- 其 7 胎盤ノ臟器特異性ニ就テ (第 1 回報告. 血清トノ關係) (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
- 其 8 胎盤ノ臟器特異性ニ就テ (第 2 回報告. 異種胎盤並ニ他臟器トノ關係) (追テ本誌ニ發表ノ豫定)

◎京阪神岡山醫學同窓 聯合大會記事

櫻花爛漫觸れなば散らん人の心もときめく 4月17日有馬温泉兵衛に於て在神戸岡山醫學同窓會主催のもとに京阪神聯合大會を開催す。定刻に達するや集まり来る會員無慮 100 名に垂々とす。

幹事藤原政雄君立つて開會の辭を述べ、京阪神在住會員は約 300 名にして、吾が岡山醫學同窓全卒業健在者の 18% に相當する一大勢力なれば吾人は活動して邦家のため、學會のため、又母校のため、大に盡力すべしと誓ひ、次いで來賓總代中野碩君は今や東洋の平和も確定せられんとする此時期に同窓相集まりて懇親を結ぶこと意義ありとなし、同君若かりし頃蒸汽船にて神戸より三幡港に向ひ上陸して岡山に達し入學したる恰も近代の洋行と比較すべき明治 20 年頃の追懷誌あり一同愉快に謹聴せり。

伊藤幸憲君は來年度本會主催地大阪を代表して挨拶あり、今より考慮をめぐらし大々的歡迎準備をなさんとのことなれば蓋し大阪に於ける來年の聯合會は毎回のことながら刮目して期待すべきことあらんと筆者よりも御吹聴申し上げをく。

幹事内田綱太郎君の音頭にて一同起立し同窓會萬歳を三唱し乾杯す。

宮原正康君、加藤誠治君の所感述懐談あり、次で目下岡山醫大内に提唱されつつある全國岡山醫學同窓會設立發起に對し滿場一致賛成をなし、漸やく酒杯飛び有馬の美人其の間に侍べり、各自の隠し藝舞踊思ひ思ひの歡を盡くす、殊に黒住久君の三昧と聲色本職も及ばざる昔乍らの巧妙、何時宴の果つとも見えず、春宵の櫻花散る有馬の潺湲たる谿流に名残を惜しみつつ一同歸路に着きぬ。(戸田生)

來會者氏名略す。